

市民の声を市政に

20人がより良い市政を目指して

一般質問とは、議員が市政全般にわたり、市の考えを問うものです。掲載内容は、各議員本人が質問と答弁を要約したもので、すべての質問と答弁は、市議会ホームページの録画中継やYouTubeで視聴できます。

二次元コードを、スマートフォンのQRコードリーダーで読み取ることで、一般質問の録画中継がYouTubeでご覧いただけます。

※一般質問は12月1日～4日に行いました。

一般質問

問 まちなかりノーションで、魅力・活力向上を
リノベーションによるまちづくりの展開をどのように考えているのか。

答 家庭教育は、すべての教育の出発点であり、家庭教育学級や子育て講演会などを実施し、保護者の学びを支援している。今年度から、親子の育ちと家庭教育を社会全体で支える環境づくりを進めている。今後も、親子の健やかな成長を見守り、人と人の繋がりを育む活動を支援していく。

問 家庭教育の充実策をどのように考えているのか。

答 本年度から3年間の地域再生計画に基づき、市内全域を対象とした事業を展開している。今後、創業人材やまちづくり人材の発掘・育成を行い、民間事業者とともに、新しい公民連携のまちづくりで街の魅力向上を目指していく。



充実した支援策で家庭教育の推進を

松枝 正浩 議員



まちづくり戦略会議の様子



問 鳥獣被害の抑制指導や安全確保の対応、捕獲物の確認など迅速に対応を設けてはどうか。

答 令和2年4月1日現在246人で、ここ数年は横ばいだが平均年齢が67歳と高齢化しており、今後の隊員減少が懸念される。

問 鳥獣被害の専門部署を設けてはどうか。

答 県内市町村と比較しても少ないことから来年度は増額したい。



さらに踏み込んだ鳥獣対策を

山田 龍治 議員



鳥獣による作物被害



文教厚生常任委員会

文教厚生
常任委員会

◎平原 志保 ○鈴木てるみ 山田 龍治 仮屋 国治 新橋 実 植山 利博
下深迫孝二 宮内 博 ◎委員長 ○副委員長

文教厚生常任委員会では、2件の条例改正と2件の指定管理、2件の契約、2件の財産取得、1件の陳情を審査

ここに注目! タブレットを導入した授業が始まります

国の「GIGAスクール構想」に基づき、ICTの活用により児童・生徒の学びを保障できる環境を整備するために、小学3年から6年までの児童及び中学の全学年の生徒に、1人1台のタブレット端末を整備するため取得しようとするもの



仮屋 国治 議員

Q 次年度以降発生する経費はあるのか。また保守契約年数は何年なのか。

A 次年度発生する費用はない。また、保守契約年数は5年となっている。

平原 志保 議員

Q タブレットは画面が割れることも考えられる。カバーやコーティングなど予定されているのか。

A キーボードがついており、それがカバーになる。中学生のタブレットは、通常使われているタブレットより丈夫であると考えている。



ここに注目!

隼人中学校の校舎改修

隼人中学校の校舎(13号棟)は、建設後約50年経過している。老朽化が著しく、修繕料が増大している状況である。内装等の木質化及び設備機器の省エネ化やバリアフリー対策などの大規模改造工事を行い、教育環境の整備を図るため、請負契約を締結しようとするもの

下深迫 孝二 議員

Q 県内の生コン価格は高いと聞いている。本市の生コンの見積価格はどのようになっているか。

A 市が採用している公共単価は、強度によって金額のばらつきがあるが、大体1㎡1万9,000円から強度が上がっていくにつき2万円を超える単価である。



新橋 実 議員

Q 入札が高止まりしているということもあり、積算価格を超えている。設計事務所の積算価格をどのように考えているか。

A 1工区が1回で落札ができずに2回目の再入札という形になった。1工区の最低価格と予定価格の差が5万4,000円であり、市で出している予定価格に近い数字で積算をしていると考えている。

